

I. 平成28年度事業計画

人口減少・少子高齢化に直面する我が国の最重要課題である「地方創生」において、観光は訪日外国人旅行者・国内旅行者やクルーズ客船の誘致等によって交流人口と観光消費を拡大させ、地域を活性化させる原動力として期待されています。このような状況を踏まえ、民間事業者との連携をより一層密にしながら、神戸への観光客の誘致・受入体制の充実、MICE誘致推進などの事業に取り組みます。

事業実施にあたっては、当協会が果たすべき役割との整合性や、収益性と公益性とのバランスの検証を行いながら、収益力の強化につながる効果的な内容となるように努め、指定管理施設においては利用者サービスの更なる向上を図ります。

併せて、組織の効率的な運営、人材の育成と活用を実践し、営業力強化と協会の自立的経営、コンプライアンスの徹底に努めてまいります。

1. 観光誘致宣伝事業

神戸への観光客誘致のため、神戸市、神戸商工会議所及び市内の宿泊施設・観光施設や旅行会社等で構成されるFeel KOBÉ観光推進協議会や神戸市観光・ホテル旅館協会等との連携を通じて、国内・海外に対して、誘致宣伝事業を推進します。

(1) 国内観光プロモーションの実施

神戸就航都市等において、旅行会社やマスコミに対する営業活動を行うとともに、市内の宿泊・観光施設と旅行会社とのマッチング機会を設け、具体的な旅行商品造成につなげることで、神戸への誘客促進を図ります。特に、平成28年度は、有馬温泉や六甲山、北野異人館など神戸が誇る観光地や、日本新三大夜景に認定された夜景のPRに加え、市や関係団体等と連携して、テレビドラマの放映や神戸港開港150年記念事業等を活用したPRに取り組みます。

また、広域観光の推進として、京都・大阪・神戸観光推進協議会や、姫路市・明石市観光推進会議等と連携しながら、誘致促進事業に取り組みます。

(2) 教育旅行プロモーションの実施

震災からの復興の過程を学ぶことができる神戸ならではの震災学習メニューを組み入れたモデルコースなど神戸教育旅行の魅力を発信するとともに、教育旅行ワンストップ窓口を運営し、旅行会社・学校関係者等からの問合せに対して、迅速で的確な対応を行います。特に、市場規模の最も大きい関東圏へのアプローチに加え、平成28年度は新たに首都圏に次いで市場規模が大きい東海地方での旅行会社への誘致活動を実施するなど、効果的・効率的な誘客促進に取り組みます。

(3) 国際観光プロモーションの実施

現地の旅行会社等を対象とした観光説明会を開催し、神戸観光情報の発信を行うとともに、市内の宿泊・観光施設と現地旅行会社との商談会を開催してマッチング機会を増やすことで、具体的な旅行商品造成の促進を図ります。

特に、平成28年度は訪日観光客の一層の増加を図るため、東アジアに加えて重点プロモーションを展開している東南アジア市場においてマッチング機会の拡充を図るなど、更に取り組みを強化します。また、大阪など周辺都市との連携のもと、引き続き欧米市場へのアプローチを図ります。

(4) 観光情報の発信

インターネットを通じて国内外に広く観光情報を発信するため、神戸公式観光サイト「Feel KOBE」を多言語で運営するとともに、より便利で魅力的なサイトづくりに取り組みます。特に、平成28年度はSNSを活用したタイムリーな情報発信に重点的に取り組むとともに、海外向け公式観光サイトにより多くの旅行体験記を掲載するなどコンテンツの充実を進め、実際に神戸旅行を決定してもらえる観光サイトを目指します。

2. 観光客受入事業

神戸のまち全体のホスピタリティを高め、観光客にまた訪れたいと感じてもらえるように、受入体制の充実に努めます。

(1) 観光案内所の運営

平成27年12月に日本政府観光局（JNTO）から外国人観光案内所として「カテゴリー3 ※」の認定を受けたJR三ノ宮駅南側の総合インフォメーションセンター、新神戸駅観光案内所、及び「カテゴリー1 ※」の認定を受けた北野観光案内所を運営します。また、増加する訪日外国人観光客に対応すべく、神戸市内の観光施設で割引等の優待サービスが受けられる「KOBE ウェルカムクーポン」や「KOBE Free Wi-Fi カード」の配布をはじめ、神戸観光アプリの利用促進に努めることで市内の回遊性を高めるとともに、ニーズに合った観光情報等を提供し、案内所機能の一層の充実に努めます。

※ JNTOによる外国人観光案内所のカテゴリー認定区分

- ・カテゴリー1：地域の観光案内を提供、パートタイム等で英語対応が可能
- ・カテゴリー2：広域の観光案内を提供、英語のスタッフが常駐等
- ・カテゴリー3：全国レベルの観光案内を提供、英語のスタッフが常駐かつ英語以外の2言語対応が常時可能等

(2) クルーズ客船の誘致・受入

神戸市客船誘致協議会の一員として、関係諸団体と連携しながら、高い経済効果が見込まれるクルーズ客船の誘致・受入を行います。

クルーズ客船が入港するターミナル等においては、歓迎行事を実施するほか、臨時観光案内所や両替所等を開設します。臨時観光案内所では、神戸市内の観光情報や商業施設の案内、神戸ならではの魅力を体験できるモデルコースなど、きめ細かな情報を提供して、神戸での滞在時間の増加に努めるとともに、神戸に対する満足度を高め、更なるクルーズ客船の入港につなげるなど市内経済の活性化に努めます。

(3) 観光客の利便性及び回遊性の向上

市内の主要観光施設で使用できる観光クーポン「神戸街遊券」の発行や、スルッとKANSAI協議会による「神戸街めぐり1dayクーポン」への参画、さらには、都心部の観光地をめぐる「シティー・ループ」一日乗車券の販売を観光案内所等で行うことで、観光客の利便性及び回遊性の向上を図ります。

(4) おもてなし向上への取組み

市内の観光関連従事者を対象に、おもてなし研修の実施や観光情報の提供により、神戸全体の観光客へのおもてなし充実に努めます。

3. 観光推進事業

(1) イベント等の実施及び支援

「第22回神戸ルミナリエ」をはじめ、「須磨大茶会」、神戸まつりの「サンバストリート」等を開催するほか、「インフィオラータこうべ」等への支援、さらには「第6回神戸マラソン」等の開催PRを行うことで、まちの賑わいと集客観光を図ります。

(2) 滞在型観光の推進

夜景観光やウエディングの誘致を図ることで滞在型観光の推進を図り、市内経済の活性化に努めます。

4. フィルムオフィス事業

神戸のまちが国内外のメディアに露出され、観光集客等による経済効果につながるよう、神戸市との連携のもと「神戸フィルムオフィス」の運営を行います。映画・テレビ・CM等の映像プロジェクトの誘致活動を行うとともに、ロケーション撮影に対するワンストップサービスを充実することで他都市との差別化に努めます。

また、ジャパンフィルムコミッションと連携して国際映像関連見本市等に出展するほか、国内外の映像制作者への情報提供を通じて、映像作品のロケーション撮影の誘致活動を行います。

さらに、神戸で撮影された作品を通じて、ロケ地としての魅力を活かした観光誘客を図ります。

5. MICE 推進事業

神戸の恵まれた自然環境や国際性、交通アクセスの良さ、会議場・展示場・ホテルが一体となったコンベンションセンターとしての強みを活かし、コンベンション関連施設や事業者との連携、民間人材の活用などにより、中長期的な視点で国際会議・国内大型学会・各種展示会・イベントの誘致に努めます。また、平成25年度に神戸市が選定された観光庁の「グローバルMICE戦略都市」事業については、28年度も引き続き「グローバルMICE都市」として、市と連携して、国際会議誘致のための環境整備を進めます。

(1) コンベンション誘致活動の強化

医学系学会、工学系学会、大学や企業などを中心に関西エリア及び首都圏をはじめ全国に営業活動を展開します。

また、「神戸コンベンション誘致協議会」や医療産業都市、スーパーコンピュータ「京」との連携を一層強化し、神戸市全域のコンベンション誘致につなげるとともに、大型国内会議の開催都市の固定化に向けた動きにも対処していきます。

さらに、ポートピア81記念基金や(公財)中内力コンベンション振興財団からの助成金など、国際・国内会議及び大会への補助制度を活用し、大規模な会議・大会の誘致に努めます。

(2) 海外へのコンベンション誘致活動

日本政府観光局と共同して実施する海外の会議開催決定権者の招請事業をはじめ、ホテル、PCO、旅行会社等と連携してコンベンション誘致を図ります。

また、横浜で開催される「国際ミーティング・エキスポ」、IMEX Frankfurtなどの

海外国際会議見本市に出展し、誘致に努めます。

(3) インセンティブツアー誘致の推進

観光事業と連携した、国内外へのプロモーション、特に需要が拡大している東南アジア地域を中心に日本政府観光局と連携した商談会やキーパーソンの招請などを通して、支援メニューのPRを行うことなどにより、インセンティブツアーの誘致を図ります。

28年度は、インセンティブツアー誘致のための現地拠点機能を整備し、取り組みを強化します。

(4) 主催者・事務局へのサポートサービスと地元との連携

①豊富な経験と実績を活かしたサービス

広報活動の支援、交通機関など関係機関との連絡調整、助成金の申請等のコンサルティングやユニークメニューの紹介等、豊富な経験と実績を活かしたサービスを提供します。

②「MEET IN KOBE」等の展開

経済・文化等への波及効果が大きい国際会議の誘致促進のため、コンベンション関係団体と連携して、補助金交付をはじめ様々なサービスをパッケージにした国際会議誘致プロモーション「MEET IN KOBE」を引き続き実施し、協賛企業・団体のさらなる獲得に努めます。

③地元との連携

市民のコンベンション産業への理解を進めるため、コンベンションに併催される市民公開講座の開催支援を進めるとともに、コンベンション参加者と市内事業者との交流機会の創出を推進します。

また、神戸市内の各大学が独自に国際会議を開催する場合、補助制度の活用やノウハウの提供など、開催支援を行います。

(5) 広報・宣伝の強化

国際会議誘致力の強化のため、ホームページの更新を行うほか、内外のコンベンション専門誌等において、神戸のコンベンション情報を幅広く発信します。

また、学会参加者をおもてなしするだけでなく、マスコミへの定期的な情報提供や大型学会開催時のバナーの掲示など、広く市民にコンベンションを広報し、市民のコンベンションに対するホスピタリティの醸成に努めます。

海外に対しては、日本政府観光局の海外事務所を活用した情報発信等により、広く神戸のPRに努めていきます。

(6) コンベンションの主催・共催

神戸のまちの魅力や施策の発信につながるテーマの展示会等を主催することにより、集客観光に資するとともに、コンベンション開催のノウハウを蓄積し、主催者サポートに活かします。

「テクノオーシャン2016」の開催

海洋の科学技術に関する総合的な国際コンベンションとして、日本で唯一定期的（隔年）に開催している「テクノオーシャン2016」をIEEE/OES及びMTSとの共催で開催します。

6. 国際会議場、国際展示場の管理・運営

指定管理者として、神戸国際会議場、神戸国際展示場の目標数値の達成はもとより、利用者へのサービス向上に努め、効率的な管理運営を行うとともに地域の活性化に貢献します。

(1) 利便性向上の取組み

新しいMICE・ブランドを構築するため、新たにコンソーシアムの構成団体に神戸ポートピアホテルを加え、日本コンベンションサービスの国際性とホテルの高品質なおもてなしを併せて、これまでにない新しいオペレーションスタイルの創造と展開を行います。

(2) 誘致営業の取組み

コンソーシアム構成団体との連携を強化し、中長期の営業ターゲットである大型国際会議、大型国内会議や、都市固定化傾向にある大型医学会の誘致に努めます。

また、短期のターゲットに対する誘致営業についても、ホテルが得意とするミーティング、インセンティブ等を中心に一体的な営業展開を図ります。

(3) 施設の魅力向上と維持管理に向けた取組み

これまで蓄積してきた管理ノウハウを活かし、安全・安心を最優先に適切な施設の維持管理を行います。

また、会議場、展示場を中心に無線LANシステムの整備・強化を行い、快適なWi-Fi環境を提供することにより、施設の魅力向上を図ります。

(4) 神戸コンベンションセンター協議会事業の展開

MICEを通じた地域の活性化に寄与するため、海外からの参加者向けにポートアイランドの英語案内板の設置、ホテル・両替・空港バス乗り場などの案内チラシの作成配布、割引料金で利用できるポートライナーのおもてなし乗車証や魅力的なギブアウェイの作製など、会議参加者へのホスピタリティーの充実を図ります。

また、11月13日～15日の「世界糖尿病デー」のブルーライトアップに参加する等、積極的な社会貢献とその発信を展開していきます。

7. 観光関連施設の管理・運営

(1) 有馬温泉4施設の管理・運営

有馬の外湯「金の湯」「銀の湯」の2館、地域の情報発信拠点である「有馬の工房」、有馬の歴史博物館「太閤の湯殿館」を管理・運営します。

指定管理3期3年目は、「金の湯」「銀の湯」の2館券及び「太閤の湯殿館」を加えた3館券の販売を継続し、集客を図ると共に、有馬温泉街の回遊性を高め利用者へのサービス向上を図ります。

(2) 萌黄の館の管理・運営

北野異人館のひとつである国の指定重要文化財「萌黄の館」を民間所有者から借り受けて一般公開し、北野を訪れる観光客へのサービス向上を図ります。

(3) 須磨海浜水族園の管理・運営

須磨海浜水族園では、共同事業体（代表企業：(株)ウエスコ、構成企業：(株)名鉄インプレス、(株)アクアート）の構成団体の一員として、民間企業と共に、長年蓄積してきた施設の管理・運営ノウハウを発揮し、利用者にサービスを提供します。

8. ポートピア 81 記念基金による補助事業

ポートピア 81 記念基金を管理し、神戸市内で開催される国際会議等に補助を行います。